

九州支部の広報活動紹介

—支部 HP と広報誌をリニューアル—

川津悠嗣
九州支部
広報委員長村上明生
九州支部
HP 制作担当有吉兼次
九州支部
広報副委員長

会員同士の情報交換と交流を促す広報活動を目指して

九州支部は7県に8地域会があり、それぞれに独自の地域会活動を行っています。九州支部広報委員会では、広報は会員サービスの重要な活動と考えています。協会の考えや動向を支部内の会員に届けるだけでなく、地域会員同士の情報交換と交流を促し、会員同士のきずなを深め、さらに地域・社会への発信窓口になることを目的としています。

ホームページのリニューアルについては10年以上前から支部の役員会にて話題に上ってきました。しかし、活動の盛んな地域会は独自のホームページがあり、支部ホームページのリニューアルの必要性を共有するには至りませんでした。ここ数年、各地域会サイトの更新が停滞してきたこともあり、福岡地域会が先鞭をつけるかたちでサイトのリニューアルを行いました。事例を示すことで支部内のコンセンサスが整い、福岡地域会のサイトの発展的解消というかたちで、支部サイトのリニューアルを行うことができました。ホームページは協力を会を含めた会員のためのものとするか、一般の方たちに訴えるものとするか議論があるなかで、誰にでも分かりやすいサイトを目指すことにしました。

支部会員広報誌『BULLETIN』は年4回の発行で長年続けてきました。こちらも電子版のリクエストはあったものの、会員の一部に紙で発行することにこだわりがあり、なかなか実現できませんでした。熊本地震とその後の支部活動の慌ただしさのなか、2年ほどの休刊期間がありました。再開後、電子版と紙媒体の併用期間を経て、本年度より完全に電子版に移行しました。今後はホームページを補完し、多彩な話題により九州支部会員間の交流を促す誌面構成を模索していきたいと考えています。

(九州支部広報委員長 川津悠嗣)

支部ホームページをリニューアル

支部HPのリニューアルは、会員サービスの充実を主眼においてさまざまな観点から検討を行いました。近年役員会資料も含めて電子化が進む当支部では、情報共有



なども電子媒体で行うことに抵抗がなくなり、今回の機会を、よりアクティブに利用したいとHPの刷新を考えました。紙媒体の要望などもあり、デジタルファーストで進めた場合の会員の情報離れを危惧しながら、少しずつ移行を図っている状況です。

HP刷新により期待される効果は、第一にスピード感ある情報の更新、第二に会員情報や名簿のデジタル化、第三に情報発信の省力化が挙げられます。スピード感については周知のとおりですが、会員情報や名簿のデジタル化をHPのデータに一元化することで、例えば、協会の会社の新商品情報や物件の相談など、設計スタッフが簡単にアクセスできたり、Google MAPで近隣のJIA会員を探せるなど、HPのコンテンツを利用した新しいサービスが提供できるものと考えています。実際に商品や建築資材の問い合わせが気軽に行えることで協力会にも会員にも相互にメリットが生まれています。また情報発信の省力化は、本会が抱える会員の減少においても考えなければならない問題です。入退会の情報や例会の告知など、HPを活用することで、今まで時間がかかり周知できていなかったことが上手く機能し始めています。

最近では双方メディアであるFacebookを使った情報発信やWeb例会の実施などを行っており、まだまだ調整と挑戦が続く中ではありますが、最終的には市民の方や建築家、建築学生など多岐にわたる人々が情報を取り

にくる媒体として運用していきたいと思っています。

(九州支部HP制作担当 村上明生)

会員広報誌『BULLETIN』を電子化し、内容も刷新

九州支部の広報誌『BULLETIN』は2000年より年4回、紙媒体で発行され、郵送で支部正会員と準会員の元へ届けられてきました。一時休刊された時期もありましたが、創刊当時の先輩方の思いを繋ぎ、延べ45号発行され、支部活動報告や各地域会活動報告、会員の紹介、コラムなどが主な内容でした。

2020年度、支部が新体制に変わり、次の3つの柱で新たな会員広報誌づくりが始まりました。

1. 支部・地域会活動報告に加え、下記1から8の読み応えのある誌面構成とする。執筆者が偏らないよう8地域会で持ち回りで記事を執筆し(4、6、7)、支部全体で協力して誌面作成を行う。各地域会は2年間で3カテゴリーの執筆を担う。総ページ数は20～30ページ程度で、年4回の発行とする。

●九州支部会員広報誌『BULLETIN』誌面構成

1	支部長挨拶
2	特集・特別寄稿・オピニオン
3	とりせつ JIAおよび業界の抱える問題に詳しい会員が各号で解説。登録建築家、会員資格、建築家法、会費、他団体との関係、国際交流、SDGs等 (毎号1～2頁)
4	トピックス 地域会持ち回り 地域のJIAおよび建築界の出来事・話題や意見を掲載 (毎号1～2頁)
5	おしえて 九州支部内のプロフェッサー・アーキテクトに研究や展望などを聞く (毎号1～2頁)
6	あのことろ 地域会持ち回り 先輩会員に地域会のあの頃の思い出を聞く (毎号1～2頁)
7	よかもん 地域会持ち回り 会員のお宝(道具、図面、本、絵画など)を紹介 (毎号1～2頁)
8	わさもん 新入会員紹介。入会の抱負や作品紹介など (毎号1～2頁)
9	委員会報告 委員会の動きを報告・予告 (毎号各委員会、計1～2頁)
10	各地域会報告 地域会の事業・行事を報告・予告 (毎号各地域会1頁程度)

2. 発行形態を紙媒体から電子媒体へ完全移行し、配信先範囲の拡大、ホームページ掲載でデジタルアーカイブとして公開する。紙媒体から電子媒体へ移行することにより、印刷費や通信費の経費削減が可能である。

3. 企画から執筆依頼、編集、校正まで支部広報委員が



新しい『BULLETIN』誌面 (2020年9月号)



紙で発行していた時の『BULLETIN』誌面

一貫して行い、広報費の圧縮、発行の省力化および情報伝達の時短化を図り、手作り感のある親しみやすいデザインとする。

今年度から新体制になり、6月号、9月号の2回、電子版を発行しました。広報委員と各地域会から執筆依頼のあった会員の皆様は快く受けてくださり、多岐にわたる誌面構成に会員より好評の声をいただいております。

紙媒体時代は正会員と準会員への配布でしたが、電子媒体(メール配信)へ完全移行したことで、各地域会の協力会にもスピーディーに効率よく届けることが可能となりました。メール配信後はホームページに掲載され、社会と次世代を担う若手建築家や学生に対しても九州支部の活動をお伝えできる環境も整いました。

情報化社会で新しい情報が日々更新される現代社会において、ホームページや会員広報誌は掲載記事の充実や最新情報更新のスピードが重要ですが、先輩方の経験豊富な知見やJIAや業界が抱える問題点を継続して繰り返し伝え、考える気づきをつくり出すことも広報活動の重要な役割と考えております。そのような思いのなか、読み応えのある誌面を支部全体で協力して作り上げることで、会員同士により強いつながりができ、支部活動が活発になっていけば嬉しく思います。

九州支部会員広報誌『BULLETIN』6月号、9月号は九州支部のホームページに掲載しております。関心をお寄せいただければ幸いです。

(九州支部広報副委員長 有吉兼次)

■ JIA九州支部ホームページ『BULLETIN』アーカイブ
<https://www.jia-9.org/archive/>